

第三者への配慮及び創意工夫

地区名 沼津地区
会社名 渡邊工業株式会社
執筆者 監理技術者 荻田 泰司
(技術者番号 232768)

1. はじめに

高度経済成長期に建設された橋梁は高齢化しており、さらに大型車の増加に伴い、鋼材の破断、亀裂等の重大な損傷が生じ始めている。定期点検の結果、高齢化が進む橋梁の損傷が多数確認されている現状である。

本工事は、御殿場国道維持出張所管内(御殿場市山尾田～裾野市御宿)の範囲に、4箇所点在し【新柳端橋、99.2+12上り、久保川高架御殿場上、富士見高架橋】橋梁の健全性をさらに確保するため、予防保全効果の高い補修を行い長寿命化を図る橋梁補強工事である。

工事概要

工事名 : 令和元年度 御殿場国道管内橋梁補強補修工事
発注者 : 国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所
工事箇所 : 御殿場国道維持出張所管内(御殿場市山尾田～裾野市御宿)
工期 : 令和2年4月1日～令和3年6月16日
工事概要 : 橋梁保全工事
【新柳端橋】
橋梁附属物工1式、落橋防止装置工1式、仮設工1式
【99.2+12上り】
橋梁附属物工1式、橋梁補修工1式、仮設工1式
【久保川高架御殿場上】
橋梁支承工1式、橋梁附属物工1式、橋梁補修工1式、現場塗装工1式、仮設工1式
【富士見高架橋】
橋梁附属物工1式、橋梁補修工1式、仮設工1式

【久保川高架橋御殿場上 完成写真】



2. 現場の課題

現場が4箇所 に点在し、工区によっては交通規制を行わなければ施工ができない、住宅が隣接している等様々な課題に直面した。施工はできて当たり前、施工者としての目線ではなく 第三者の目線になって今回、現場を進める事を念頭に掲げた。

又、現場作業を進めるに当たって幾つかの課題もあったが、創意工夫をもって現場を進めた。

3. 実践内容

① 規制看板へ規制開始日の明示

現道規制（R246、R138）を行うに当たり、遅くとも規制開始日の1週間前に規制看板の設置を行った。その際、規制開始日の明示をし第三者へ周知を図った。



② 歩道へ張出した枝の処理

現道規制（R246）を行う前、現地調査をしている際、第三者が張出した枝を避けて通行している所を確認した。官地外の枝のだった為、地主さんに了承を得たうえで、現道規制した際に、歩道へ張出した枝の処理を行った。



③ 施工ヤードの確保

現道規制をしなければ、足場の施工ができない。抑制期間に入ったら規制ができない事が懸念された。施工箇所近接している場所に、施工ヤードに適した場所があった為 借地し敷鉄板を敷設し、施工ヤードの確保を行った。

【施工ヤードの確保 全景】



【施工ヤードの確保 敷鉄板敷設完了】



④ 立入禁止措置の設置

吊り足場の出入口箇所に立入禁止措置を施した。住宅が隣接している箇所であった事から、不用意に第三者が吊り足場内に立入らぬよう、注意喚起明示及び施錠の徹底を行った。

【立入禁止措置 A1橋台側】



【立入禁止措置 A2橋台側】



【注意喚起明示】



【注意喚起明示】



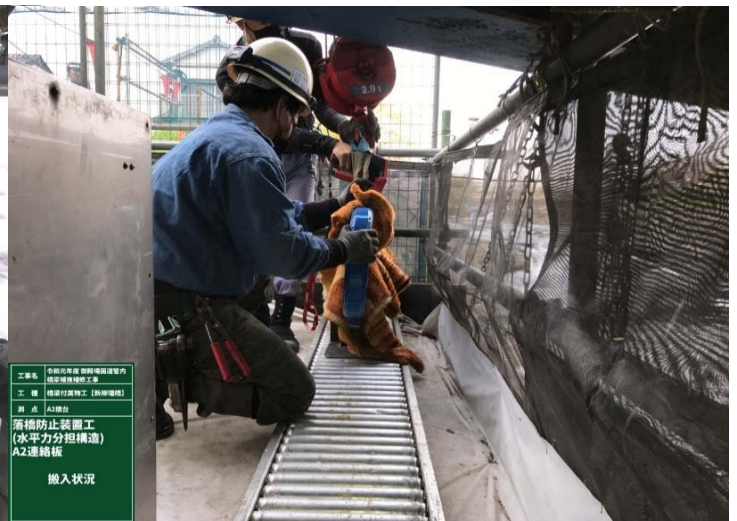
⑤ スチールコンベアーの導入

河川内での吊り足場設置の為、河川断面確保が必須となり 作業床と桁下との高さが低い為、落橋防止装置資材搬入が困難と予想された。スチールコンベアーの導入により安全かつ円滑に作業を行う事ができた。

【縦型緩衝ピン搬入状況】



【落橋防止装置資材搬入状況】



⑥ 現場監視カメラの設置

急な気候変動による河川の増水や異常時にリアルタイムで素早く現場監視をする事が可能となった。また、長期休暇中もスマートフォンから現場状況の確認も行え、現場監視がいつでも行う事ができた。

【現場監視カメラ設置状況】



【現場監視カメラ写真】



4. まとめ

今回の工事は、4箇所にて点検していた。現道規制は約6ヶ月間。
4箇所が被らない工程を作成したが、コンサル回答の遅延等により施工時期が被る箇所もあった。
現場技術者の増員を行い、現場管理の徹底に努めた。
第三者からの苦情等もなく、無事故で完了を迎えられた事が一番の喜びである。
改築工事と違い、橋梁補強工事は完成写真が映えない事が残念だが 映えない所が重要でないかと
今まで工事に携わってきて感じている所である。
今後も、橋の長寿命化に貢献しより一層精進して参りたい。